学び舎「コウル」
そこはあなたが自分らしさの息を吹き返す場所。

あなたがご家族のもとを巣立ち、
社会人になった未来を想像してみましょう。

どうしたらあなたは
イキイキと自分らしく、すこやかに
社会を突き動かしていく素敵な大人へと
成長していけるのでしょうか。

ここであなたに質問です。
以下の質問にYESかNOでお答えください。

①自分のことが好き

②他人と関わること
が好き

③苦手なことでも
挫けずに前向きに
取り組める

④今が楽しい

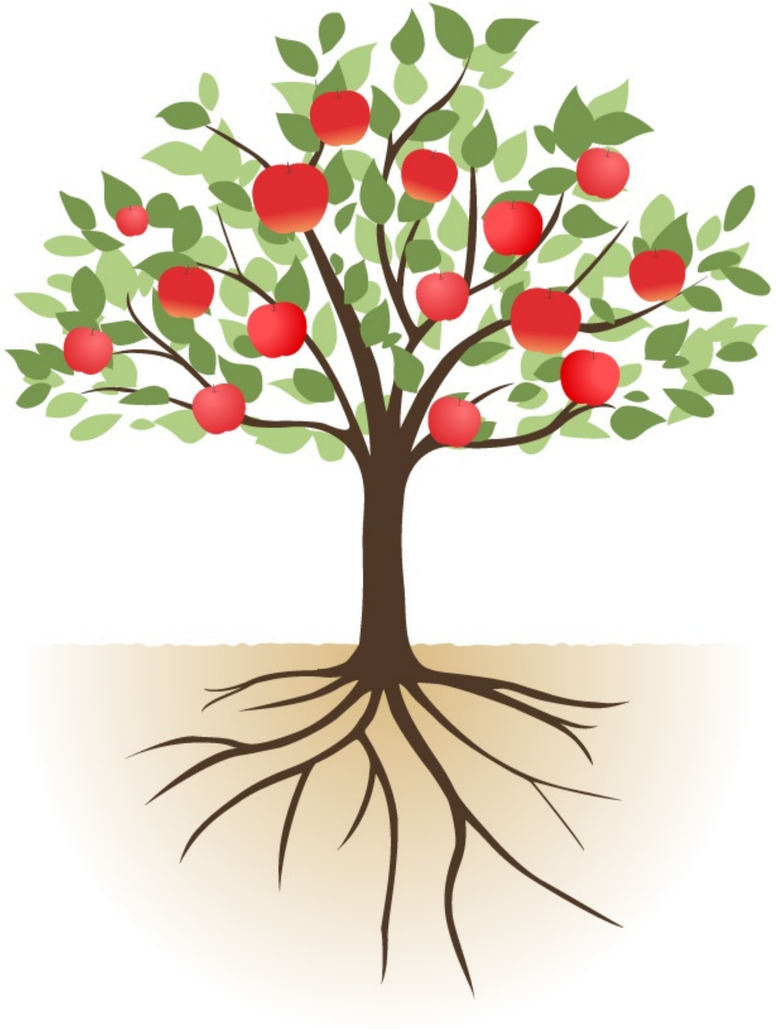
⑤自分の限界を
知っている。

⑥ストレスと
上手に付き合うことが
できる

⑦これから挑戦し
たいことが
たくさんある。

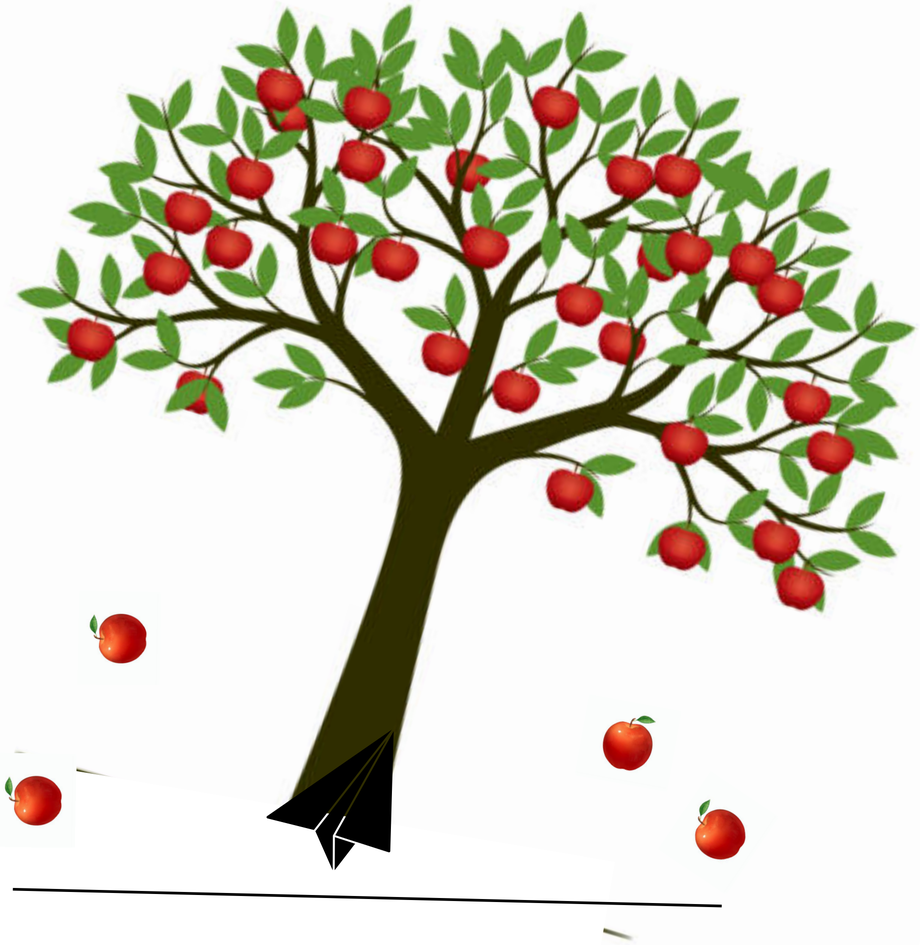
⑧社会人になること
に不安がない。

先ほどの８つの質問で
あなたが「人としての根っこをどれだけ
張れているか」がわかります。



社会に出ていく上で大切な、人としての根ってなんだろう？

大切なことは
土の中でしっかりと根が張られていて
おいしい実がたくさんなること。

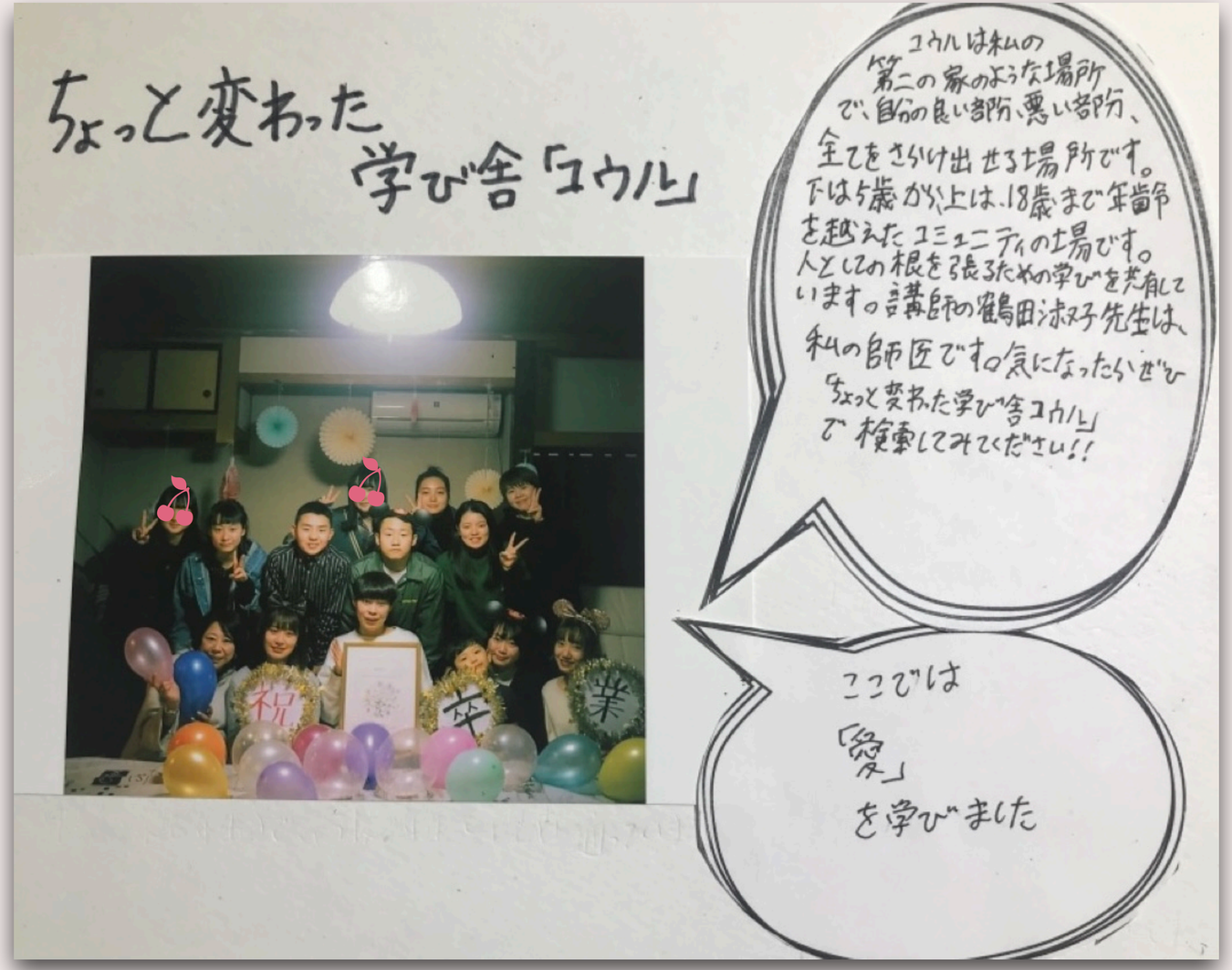


りんごの実が学力や成績。
いくら実がたくさんついていても
根っこがしっかりしていないと天災で倒れてしまう。

目には見えない土の中で
根っこがしっかりと
張られているからこそ
台風が直撃しても
倒木したり、
実が落ちたりしない
強い木になるのです。

コウルは
人としての根（＝人間力）を
しっかりと張る場所です。
あなたの今の気持ちを大切にしながら
社会に出ていく上でとても大切なことを
一緒に学んでいきます。

ここで、コウル第６期生の川俣くんが大学入学の入試課題として提出した「フォトブック」にて、コウルを紹介してくれたページを覗いてみましょう。



※川俣くんらしさが溢れ出る写真を撮影するために、鶴田先生がカメラマンを担当。

川俣くんはコウルについてこう綴っています。

「コウルは私の第二の家のような場所で、
自分の良い部分、悪い部分、
全てをさらけ出せる場所です。
年齢を超えたコミュニティの場です。
人としての根を張るための学びを
共有しています。
講師の鶴田淑子先生は、私の師匠です。
ここでは愛を学びました。」

コウルは、あなたにとって夢実現や目標達成、自分自身を貫く生き方を学べる場所、背中を押す存在です。
そしてあなたにとって、教室や先生が「安心できる場所」「安心できる人」であるよう努めてまいります。

あなたの今の気持ち、自己決定を大事にいたします。

鶴田先生

どんなに元気な子でも
泣きながら教室に入ってくることがあるんです。

あなたはいつも何かと戦っていると思います。学校に行っていても、ご家庭がどんなに幸せな家庭であっても、もしかしたら誰にも苦しいことを打ち明けられていないかもしれないし、心や身体が思い通りにいかなくなっている人もいるかもしれません。勉強したい気持ちはあるのに、集中できなかったり、何をどうしていいのかわからないという人もいるかもしれません。

コウルはあなたとって、ありのままの自分でいていい場所です。そしてご家族や友達には打ち明けられない、自分の中に大切にしまっていることを曝け出せる場所でもあります。

人は健やかなこころと体が揃ってはじめて、好きなことに没頭できたり、勉強に向かえます。健やかなこころと体は、正しい食事と十分な睡眠、良好な親子関係から生まれます。

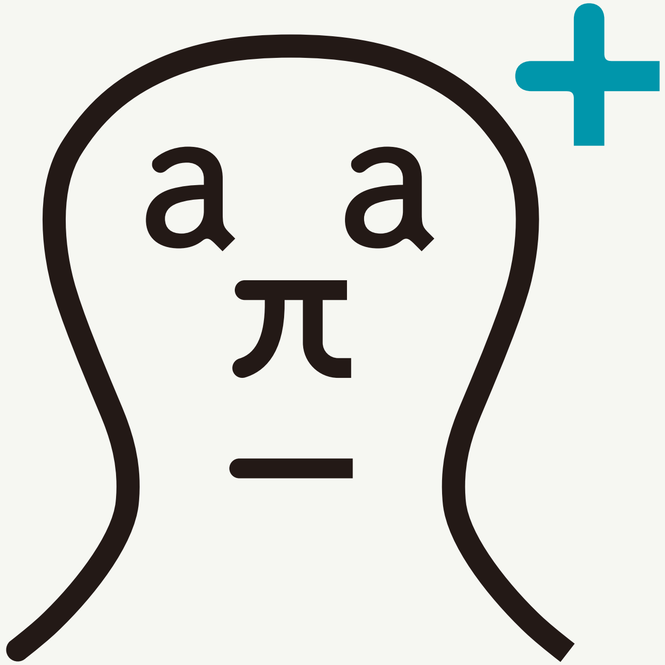
あなたが教室にいらっしゃった時に、もしも心が不安定な時には、落ち着いた心を取り戻すために、私の感覚であなたにその時必要だと感じることを一緒にしよう！と提案すると思います。今、健やかに過ごせるようになることが、未来のあなたのすこやかを作っていくのです。嫌々今を犠牲にした上に成り立つ未来ではなく、今にしっかり目を向け、自分を大切にしていきながら、あなたの健やかなで輝かしい未来を、コウルは共に築いてまいります。

【学びのサポート】あなたの行動の変化が鍵🗝️✨

コウルの個別指導

その日の取り組み、 学びたいこと、次回までの宿題も自己決定。
ご自身で決めていただきます。
自宅での学習で集めたご質問も遠慮なくご持参ください。
とことん教えます。

教室自習・ご自宅にて



atama +を教室自習時やご自宅でお使いいただけます。
講師が次のテスト範囲の予習として数学、英語の課題を設定します。
ご自身のできる範囲を学んで下さい。
無理すると続きませんので、細く長くじっくりコトコトいきましょう。

世界に羽ばたく人財を育てるために

大学受験を控えた高３生のコウルメイツ、勉強と同時並行でどんなことをしているのか？

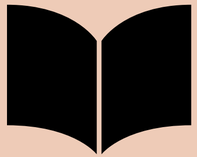
ex 「自分はどんな人間なのか。」を自問自答する自分堀り。同時に自分の考えを整理する方法も実践的に学ぶ。

コウル第６期生　川俣椋嵩くんの場合

×

【必要なもの】

ぺん

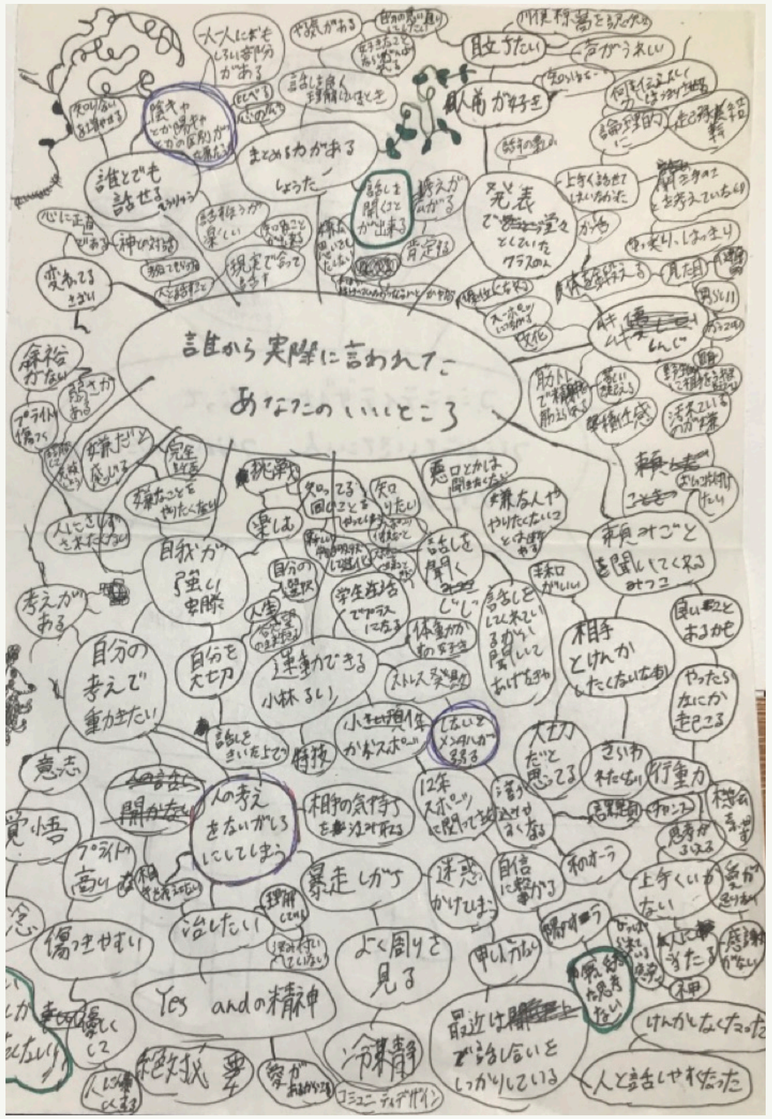


ノート

自分の頭と心

鶴田先生と
コウルメイツ

＝

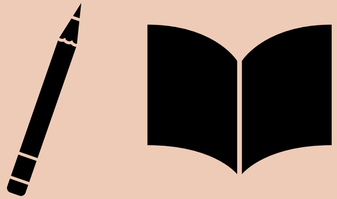


ex 自分のアンテナに引っかかった本や見聞きした情報、人との会話から得られたヒントなどをまとめた自分帳を作成する。
その情報を他者にアウトプットし、レポート、小論文で自分の考えを述べる練習を積む。

コウル第５期生　阿部純也くんの場合

×

【必要なもの】

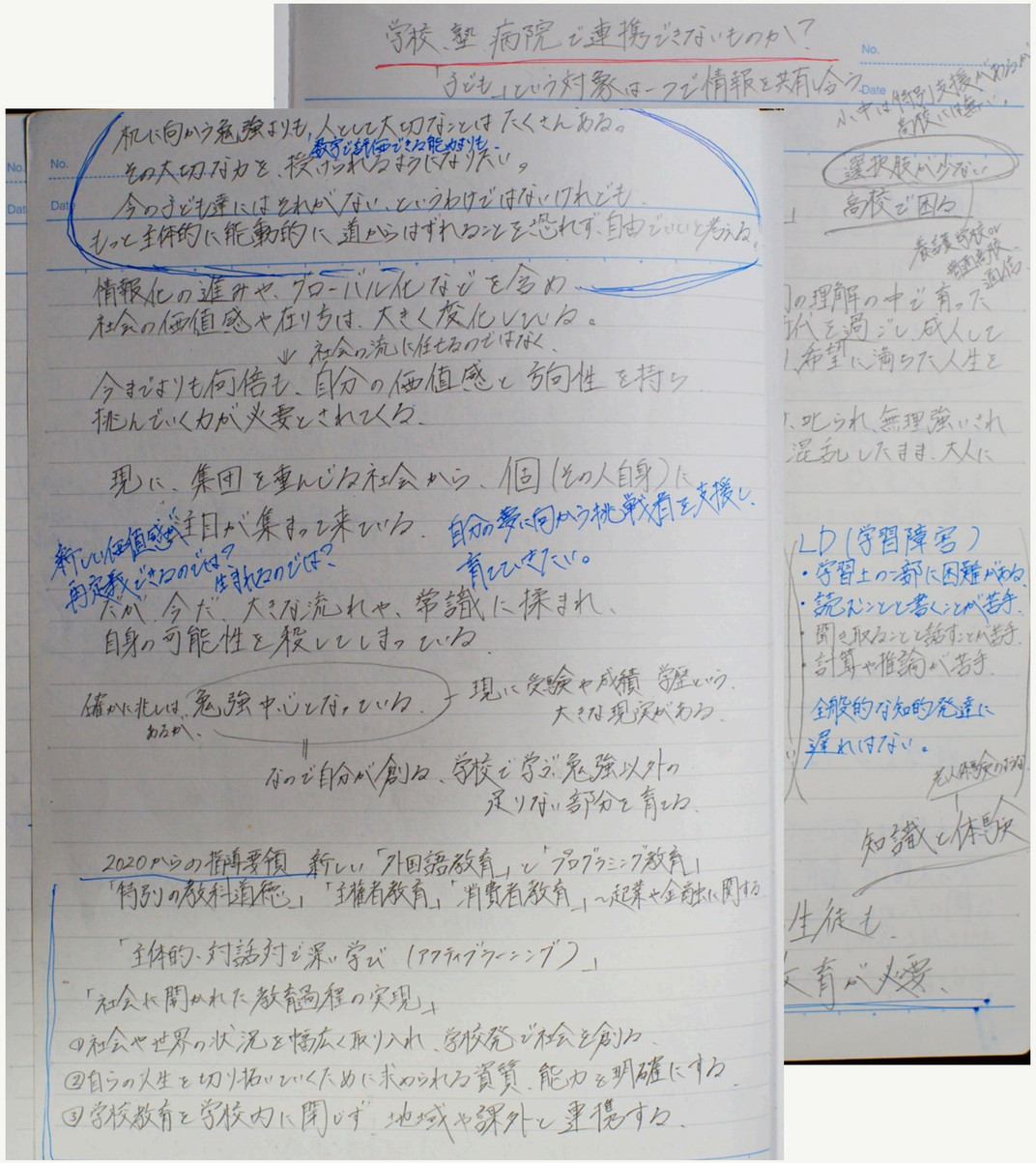


ぺん　　ノート

コウル図書　　自分の頭と心

鶴田先生による
「なぜ？」質問攻め

=



コウルですでにしあわせな生き方を手にされた卒業生たち

「自分に正直に生きる。」
「自分の人生に責任を持てるのは自分だけ。」

第１期生　早織ちゃん　　第５期生　純也くん

加藤早織/Kings College London

効率的なものがいいとされる社会で生きていて、
理性的な自分が自分自身の本音を否定してしまうことがありますが、鶴田先生は理性よりも直感！
本能でもって「進め！」と応援してくれました。
鶴田先生が自分の直感に従うことが間違いではないと勇気づけてくれたこそ、今の私がここにいます。
コウルは、**自分に正直に生きる**ということを考えさせられる場所です。

阿部純也/大東文化大学

自分の進む道に対して意見して下さる方たちがいる。
それはとてもありがたい助言なのですが、
自分の人生に責任を持てるのは自分だけであって、
そういう生き方を身近な大人である鶴田先生が体現しているというところに、私は大きな意味があると思います。

コウルYOUTUBEチャンネル　卒業生対談より

今が変われば、未来は必ず変わります。
あなたの「こうなりたい！」
「変わりたい！」という想いと
今、この瞬間から
いつもと少し違う選択を重ねていくことが
とても大切です。

近い未来、
心のガソリンが満タンのあなたに
コウルでお目にかかれることを
心よりお待ちしております。

おまけ

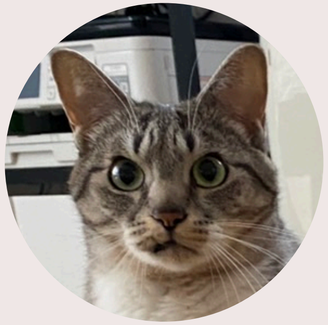
コウルのにゃんこ先生のご紹介

ふーた

ももたろう

ララ

リリ



サバ

ココ

ミミ

休憩時にニャンコが登場する日も？！ねこアレルギーがある方は遠慮なくお知らせください。